

第2回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日 時 平成29年3月17日(金) 10:00~12:00

場 所 富士見市役所 市長公室

出席者 ○市民懇談会参加者

岩本	是永	大木	佐藤	藤川	狐塚
○	○	○	○	○	○
氣賀澤	池田	高橋	田村	大下	矢島
×	○	○	×	○	×

○事務局

【生涯学習課】 鳥海課長、和田副課長、加治主査

【地域文化振興課】 田中主事補

1. 開 会

- ・あいさつ 岩本座長

2. 議 事

- ・平成28年度の生涯学習関連事業内容について
事務局より、平成28年度の人材バンク及び生涯学習ガイドについて説明を行った。
委 員) 人材バンクの利用状況はどうなっているのか。
事務局) 平成27年度まで1施設月2回の規制をかけていたが、本年度はその規制を少し緩めた結果、利用件数の増加が見受けられた。
委 員) 生涯学習ガイドに関して、補助金や交付金が交付されているものはその旨がわかるようにしてほしい。
事務局) 生涯学習事業に関しては基本的に公金を使用しているが、表記に関しては検討する。
委 員) 今後の方針や実施内容について前向きに議論できるようにするべき。
委 員) 補助金をつけるときの規定はあるのか。
事務局) 補助金交付要綱がある。

事務局より出前講座および第2次富士見市生涯学習推進基本計画～取組みの方向性～について説明を行った。

委員) 過去の実績を集計して、実施数が少ない講座は削除すべきではないか。時流に合わせ、流動的な講座と周知方法が求められる。

委員) 時流で講座の需要は変わるので、残しておいてもよいのではないか。

委員) P T Aを通じて周知を行えば、子育て世代への効果的な発信ができるのではないか。

委員) 昨年度実績に比べ、実施数が半減している。

委員) 公民館で活動しているサークルのリーダーを集め、P Rしたほうが良い。できることから始めてゆけばよいのではないか。

委員) 効率化、経費削減の問題はあるが、広く生涯学習の門戸を開くことが大切である。

委員) チラシの見せ方、ラックへの設置方法に工夫が必要である。

委員) 取り組みの方向性に関して、本年度以降の実施事業を評価・検証する手段、たとえば報告書などを作ってほしい。

事務局) 内容等、検討課題とさせていただきます。

・平成29年度の生涯学習関連事業予定について

事務局より、平成29年度の生涯学習関連事業に関して説明した。

委員) 生涯学習関連事業の予算を全庁的に出してほしい。広報ふじみに載せてもよいのでは。

事務局) 生涯学習関連事業に関しては事業予算が複合的であったり実行委員会形式の予算が含まれるなど、予算の明確な提示には課題が多くあるが、将来的な課題として検討したい。

・その他

委員より本年度の生涯学習に関する活動報告と高等学校卒業程度認定試験に備える指導校および放送大学の学習センター招へいに関する要望が発表された。

委員) 学習できない環境、貧困は難しい問題である。本懇談会で実施決定を下すことは難しい。

委員) 図書館の図書購入システムについて教えてほしい。

事務局) 市民からリクエストがあった場合、リクエストシート等により要望があった図書等の資料を館内にて検討し、購入する。

委員) 金額に上限はあるのか。

事務局) 特にない。

委員) 図書資料のコピーに関して、住所等を記載する意図がわからない。図書館の利用者カードがあるので、それを活用するなどできないのか。

事務局) 図書館に確認する。

委員) 本懇談会の開催予定と議題を事前に明確化してほしい。各団体からも議題が出やすいのではないか。

事務局) 次回以降の検討課題とする。

3. 閉 会

以上